

## 鳥取市女性デジタル人材育成事業【鳥取市】

個別事業費	1,812千円
交付金額	1,350千円

## 地域の実情と課題

令和元年度に実施した「鳥取市男女共同参画に関する意識調査」で、「女性が仕事を続けていく上での支障はどんなことがあると思いますか」の問いに、「乳幼児の養育、家族の介護、子どもの教育」が上位3位を占めており、家事・育児は女性が担うものとして認識されている現状がある。本市では、令和5年度より女性デジタル人材育成事業を行っており、パソコンスキル、受講の目的に多様な要望があるが、柔軟な働き方ができるデジタル就労へつなげる必要がある。

## 事業の特徴

2つのコースに分け、デジタルスキル講座を実施した。

- ・初心者向けデジタルスキル講座では対面で実施し、パソコンをお持ちでない受講者には貸与を行った。受講日に合わせて、県立ハローワークと連携し、職業適性診断と就労相談を実施した。
- ・Webデザインスキル講座では、オンラインで実施し、未受講の方は動画配信を行った。

## 事業の効果

デジタルスキルを学ぶことにより、デジタルスキル習得の必要性について一定程度の理解が得られた。事業の満足度は高く、前向きな感想が多かった。受講者アンケート結果から、約7割が「受講後デジタルスキルへの関心が高まった」、8割が「今後さらにデジタルスキルを学び就労・在宅ワークにつなげたい」との回答があり、さらにスキルアップを図ることへの意欲は高い。

## 目的・目標

女性のデジタル人材を育成し就労につなげることを目的に、就労に必要なデジタルスキルを学ぶ機会を提供し、自分らしい働き方を見つけることで、女性の就労機会の創出を図りました。併せて、会場受講やSNSの活用による受講者同士の交流により、孤独を防ぎ社会とのつながりが期待できる。

【セミナー満足度】目標：80.0% 実績：85.7%

## 連携団体

- ・ハローワーク鳥取・マザーズコーナー、県立ハローワーク、若者サポートステーション等、受講対象者が見込まれる機関に参加募集のチラシを配布し参加を呼びかけた。
- ・県立ハローワークと連携し、職業適性診断・就労相談を開催した。
- ・鳥取県東部と兵庫県北部で構成された「連携中枢都市圏」である「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」（鳥取県鳥取市、智頭町、若桜町、八頭町、岩美町、兵庫県新温泉町、香美町）の構成町に本事業の周知を呼びかけた。

## 今後の課題

受講者のパソコンスキルや受講目的が多様で、デジタル就労へつなげるためには、就労スタイルの成功事例の提示や、自分自身を肯定的に捉え自己研鑽を高めるサポートが必要である。就労については、国・県・市の労働関係機関と連携を図りながら、デジタル業務を外注する事業所の掘り起こし、受講者のニーズにあった働きかけ、キャリア面談や丁寧なOJT、企業とのマッチング支援の場が必要である。

